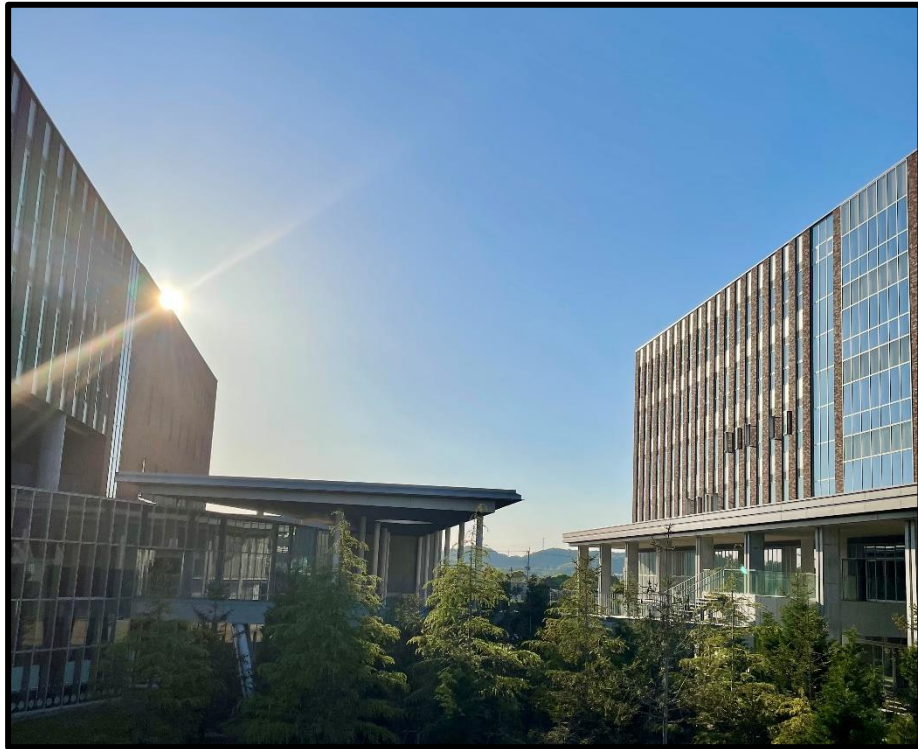


姫路大学大学院看護学研究科

Newsletter No. 5



《 「守・破・離」・「不動智神妙録」と大学院教育 》

看護学研究科教授 幸福 秀和

《 看護の力で持続可能な未来を創る 》

看護学研究科教授 富岡 美佳

《 トピックス 》

《 大学院生の声 》

博士前期課程1年生 前川 梨花

《 大学院オープンキャンパス・入学試験のお知らせ 》

《 「守・破・離」・「不動智神妙録」と大学院教育 》

看護学研究科教授 幸福 秀和

昭和の時代に、中部地方の T 大学の体育学部武道学科で、高校の体育・武道教師を目指していた。武道学の講義で、「守・破・離」と「不動智神妙録」を学ぶ機会があった。当時は、講義の内容を武道や芸事（茶道）の理解としてはるか昔の戦国時代・江戸時代のことと捉えていた。最も現代における武道や茶道とは異なる趣があるとも考えていた。

「守・破・離」は千利休が「利休道歌」に、「規矩作法 守り尽くして破るとも離るとても

本を忘るな」。これは、オリンピック種目の三段跳びのホップ・ステップ・ジャンプの意でしょうか。すなわち、修業では、師匠に教わった型を徹底に「守る」学びから修業が始まる。師匠の教えに従い修業・鍛錬を繰り返すことでその型を会得していく。会得した型や他の諸流派の型も学びながら、自分の学びのなかで、さまざまな工夫と研究をするなかで自らに合致した型を生み出す。その試行錯誤と模索で既存の型を「破る」ことができる。そして、さらなる工夫と研究、自己の修業と絶えざる鍛錬を繰り返し、師匠から教示された型と自らが生み出した型を融合あるいは知識と技術を深く理解していくことで、既存の型から「離れ」て、そこから自由になり、自在に成すことで、新規に流派を創設するに至ることである。

利休のいう「本を忘るな」とは、「守・破・離」を体現できたとしても、元の学びを、その精神的基盤を喪失することなく保持することと理解している。また、基本の型の学びがなく、我流を追求しては「形無し」であると考えている。すなわち、医療の分野では、医療の基本（守）を忘れず、日々の臨床・研究に対応（破）して、明日の医療を創造（離）出来ると捉えることと理解することもできる。

今まで、学部・修士・博士の過程に当てはめると、学部では教師の教えを忠実に「真似る」「学び」を行い、その教えを「守る」ことにより実践される。修士（博士前期）課程では、姫路大学においても臨床経験を 5 年～10 年経験され入学される方も多し。臨床経験上で様々な経験して、広く研究されてきたのをさらに進めたい、修士課程では独自性を出しつつ高度専門家として「破る」ことが求められると考えている。博士後期課程は、独自性を強く求められことから、既存の研究（型）から進展して、所属する職域に貢献することを前提に、まったく独自の「離れる」領域での研究が求められることとなると考えている。

後年、兵庫県の K 大学医学部保健学学科作業療法学専攻で学部と大学院教育にかかわるようになり、ふと、「不動智神妙録」を思い出し、ついで、利休の「守・破・離」を想起することがあった。



中国地方のK大学保健学部・大学院の勤務をはじめ他大学での指導をとおして、学部生、大学院生の論文を読む機会があった。あるいは専門領域であるリハビリテーション領域、リハビリテーション医学会の論文を読む機会も、大学教師になってからも福祉・教育など様々な領域の論文を読んできた。そこで、気づくことがあった。

「不動智神妙録」は東海地方のT大学で武道科主任教授のM教授の講義で学んだ。M教授は、剣道界では高名な剣士で、「不動智神妙録」は剣道家（剣術）へのメッセージと、その時は理解していた。

「不動智神妙録」とは、江戸初期の活躍した沢庵禅師（沢庵漬けで有名）が書いたものである。柳生宗矩に与えた書と言われている。「剣法（兵法）と禅法の一致（剣禅一致）」について記されている書物である。宮本武蔵の五輪の書と双璧をなしている。

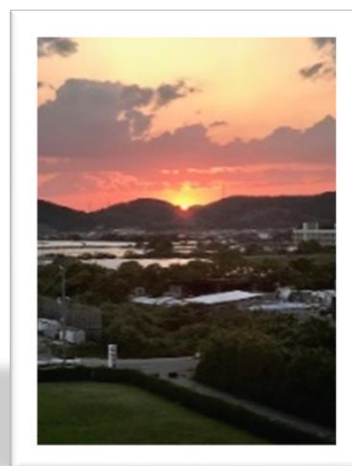
その中に、『一本の木に向こうて其の内の赤き葉一つ見て居れば、残りの葉は見えぬなり。葉ひとつに目をかけづして、一本の木に何心もなく打ち向ひ候へば、幾多の葉残らず目に見え候。葉一つの心をとられ候はば、残りの葉は見えず、一つに心を止めぬば、百千の葉みな申し候。是を得心したる人は、すなわち千手千眼の観音にて候。』

『心をどこに置こうぞ、敵の身のはたらきの心を置けば、敵の身の働きに心を取らるるなり。敵の太刀の心を置けば、敵の太刀に心得を取らるるなり。敵を切らんと思ふ所に心を置けば、敵を切らんと思う所に心を取らるるなり。我切られじと思う所に心を置けば、切られじと思ふ所に心を取らるるなり。』

すなわち、心が物事に捉われ、あるいはその意識が過ぎれば、迷いが出てしまう。これを越えて「迷わず、捉われず、止まらず」であれば、「答えを求めるよりも、そのプロセスの大切さ」を伝えている。何事も広い視野をもつことの意味を問いかけている。

研究していると、こだわりがあり、また、研究を進めていく過程で、草原から林や森に迷い込んでしまうことがある。その時、指導教員のアドバイスで道が見えることもある。あるいは、抜け出すこともできると考えている。あるいは研究の原点に戻ってみることも必要な場合もある。言い方を変えると、亀の歩みから、鳥が飛翔しながら鳥瞰図の視野と視力を獲得するプロセスを大学院教育が包含していると考えている。

柳生新陰流は「活人剣」とも言われている。その修業を通して「よく生きる」ことを示していると考えている。大学院で過ごす中で自己覚知を通して「私は、よく生きていく」ことを目指して欲しいと考えている。



《 看護の力で持続可能な未来を創る 》

看護学研究科教授

富岡 美佳

地球は今から約 46 億年前に誕生し、その地球に原始的な生命が生まれたのは約 40 億年前とされています。全球凍結の時期、生命体の絶滅という危機と、生き残るための進化を繰り返しながら、生命は今に受け継がれてきています。私たちの生命は、地球の変化に影響を受け共進化しています。今ここに在る事をあたりまえのように思いますが、命のバトンは、たやすく受け継がれてきたわけではありません。地球は美しい惑星です。海や山など、日頃あたりまえに目の前にある自然は、私たちに食の恵みや生きるエネルギーを与えてくれています。原始的な生命は、永い歴史の中で、心を持つ生命体となりました。人の心を感じる事が必要だったからだと思います。そして、対話をするための言葉も持つことが出来ました。人と繋がる事が必要だったからだと思います。豊かさと生活の質の向上、尊厳を大切にしながら、グローバル化も加速させてきました。



一方で、地球環境の問題や、貧困や格差という課題は深刻な状況となっています。2000 年に国連総会で、2015 年までに貧困率を半減するという目標のもとに、MDGs が合意され、一定の改善が見られました。それに続き、2015 年国連で持続可能な開発のためのアジェンダ SDGs が採択され、途上国も先進国も含めて「誰一人取り残さない」社会の実現に向けて 17 のゴールと 169 のターゲットを 2030 年までに実現する事を世界規模で目指しています。地球市民として、国や、地域、学校や企業そして一人一人が自分のできる事から進めていく必要があります。

看護学は「ゴール 2：すべての人の健康と福祉」に寄与する事ばかりではなく、看護の対象となる人々の、不平等や、衛生問題、貧困、平和やパートナーシップに掲げられているターゲットにも関連しています。そして、人は環境の変化によって、健康が左右されてきます。私たちは、看護学という学問を通して培った智と、実践力を持って、持続可能な未来に向けた取り組みを行います。とくに、看護研究は、日々変わりゆく社会の中で、対象の方の生活を理解し、予測される事象や現象を記述、説明をしていき、活用し実証していきます。このことは、持続可能な未来への道標となります。

心を持ち、対話をするための言葉を持った私たちですが、これからは、デジタル社会との共進化も予測されています。近い将来には、AI などの先進テクノロジーを活用した看護を実践していくでしょう。看護は、いつの時代にも対象の方にあつた個別性のあるケアを実践して来ています。日本看護協会が示した看護職の倫理綱領にある「国籍、人種、民族、宗教、信条、年齢、性別、性的指向、性自認、社会的地位、経済状態、ライフスタイル、健康問題の制約を受けることがない」ようにすべての人々の最高水準の健康について記しています。このように、誰一人取り残さないという事をしっかりと心にとめ、私たちが“今ここに在る”ことで、出来る事を考えていき、看護の力で持続可能な未来を創ることができればと思います。

《 トピックス 》

博士後期課程中間発表会の開催

2月20日(土)13時から16時まで博士後期課程2年生の中間発表会を開催いたしました。2年間取り組んできた研究内容の発表となり、これまでの成果がうかがえました。コロナ禍のなかで研究が計画通り進んでいかないことも多いようですが、次のステップの研究計画書の審査に向け前向きに取り組んでいただきたいと思います。



博士前期課程公開研究成果発表会の開催

2月27日(土)10時30分から12時まで博士前期課程修了生の公開研究成果発表会が開催され、50名弱の参加者があり有意義な発表会となりました。3名の修了生が仕事と両立しながら2・3年間の時間をついやし、取り組んできた研究成果の発表となりました。大学院で学んだ多くのことを従事する教育機関や臨床などで、十分に発揮していただきたいと思います。



大学院学位記授与式の挙行

3月12日(金)10時から学位記授与式が挙行されました。

博士前期課程3名が晴れて修了式を迎えました。コロナ禍のなかで規模を縮小した学位授与式ではありましたが、多くの教職員から心のこもったエールや拍手の見送りを受け思い出に残る授与式となりました。



大学院入学式の挙行

令和3年度姫路大学及び大学院入学式が挙行されました。大学院では今年度より本格的に遠隔授業を導入したため、九州地方や関東地方など遠方からの入学生が増えました。コロナ禍のなかで学内関係者だけの規模を縮小した入学式でしたが、大学院生からも新入生の宣誓が行われ、身が引き締まるような式となりました。



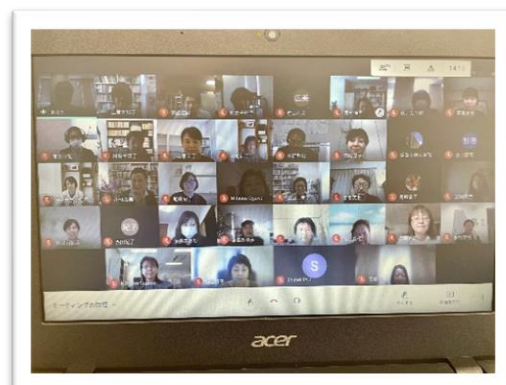
新入生オリエンテーションの開催

入学式に引き続き新入生オリエンテーションがあり、大学院の教育目的や履修、年間スケジュールなどの説明がありました。また院生や教員の研究テーマなどの紹介もありました。今年度の入学生は、全員が働きながら学ぶ社会人学生ですので、講義日や時間は、仕事のシフトなどに配慮して、教員と相談をして決めスタートしました。



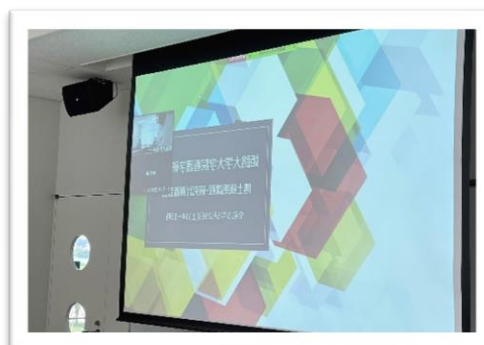
博士前期課程中間発表会の開催

5月15日(土)13時から博士前期課程中間発表会を開催しました。緊急事態宣言の中、オンライン開催で実施した結果、39名の参加者があり、有意義な発表となりました。発表会終了後に、教員、前期・後期課程の皆さんとオンライン懇親会を開催しました。病院で働きながら学んでいる院生からは、コロナ棟が増え大変な状況ですが、「大学院の授業がリフレッシュになる」という言葉に参加者全員が励まされ、新たなエネルギーと深い絆を得ることができました。



博士後期課程研究計画審査会の開催

博士後期課程の2年次に研究計画審査会がスケジュールされています。これから研究を進めていくうえでの大切な通過点です。それぞれ研究の進捗状況は異なりますが、審査委員の先生方の意見を通して改めて自分の研究と向かい合う機会となることを願っています。

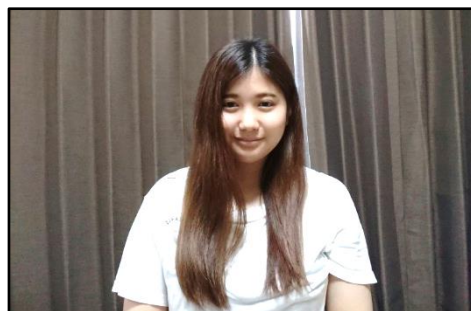


《 大学院生（博士前期課程生）の声 》

前川 梨花さん

（博士前期課程1年生 成人・高齢者看護学分野）

2020年3月大学を卒業後、現在は神奈川県の済生会横浜市南部病院に勤務する。2021年4月姫路大学大学院博士前期課程に社会人学生として入学する。



大学院に行こうと思ったきっかけは？

2020年3月大学を卒業し、現在は神奈川県の済生会横浜市南部病院に勤務しています。2021年4月に姫路大学大学院博士前期課程に社会人学生として入学しました。

大学院に進学するきっかけは、日々病院で働いているなかで、「看護って何だろう」「何でこんなのをやらないといけないのか」という疑問を持っていました。看護師をしている母に聞いたところ、「自分がわからないと思っていることの根拠を知って、職場に投げかければいいんじゃない」って言われました。私の母は、現在、大学院の博士後期課程で学んでいるので、看護のことや、研究のこととかよく話をしてくれます。たまには、自分でも興味のある論文とかを調べて読んだりしていると、いろいろなことが研究されているのがわかりました。私も看護について、もっと知りたいし、学位の取得ができると職の幅が広がると思って、大学院への進学を決めました。姫路大学大学院と他の大学院はあまり比べていませんが、遠隔で授業ができることや、仕事の都合に合わせてもらえるということを知ったので、姫路大学大学院の入学に決めました。

大学院での授業はどうですか。

大学院での講義は、すごく仕事の都合に合わせてくれていますので、仕事との両立も順調にこなすことができます。元々時間割はあるのですが、大学院生の仕事のシフトなどを考え、時間割を調整したり、講義の開始時間を変更してもらったりしています。

大学院での講義は、「看護とは何だろう」ということから入って行って、例えば、「看護理論」の講義は大学でもあったんですが、どちらかというとなりたい科目だと思っていました。大学院の看護理論の授業では、私は臨床現場で自分の看護の提供について役立つと思い「ウィーデンバックの看護理論」を選んでまとめました。「患者あつての看護師」と、看護師の存在理由を問うところから始まり、「患者」の「援助へのニーズを満たす」という臨床看護の概念を明確にしていることから、あらためて看護について考えることができました。看護を自分の業務をこなすと思いがちでしたが、ちゃんと看護とは何だろうと、看護の本質を理解したうえで患者に接していくことが、患者のことを考え心のこもった看護につながっていくということがわかったような気がしました。

援助的関係論は、患者とのかかわりなど、授業は難しいです。しかし、患者の心について考える、患者の思いなど、病院でも先輩からの助言でよく言われていたことですが、理解でき

てなくて、患者に寄り添った看護をやっていなかったと思います。授業で学んだ人間関係の基本から援助的関係、さらに治療的関係については、今、日々の看護にすごく活かされています。

遠隔授業については、これまで、このような情報機器を利用してきたことはありませんでした。始めてでしたが、使用方法を教えてもらうとすぐに理解できました。

「Google Classroom」で、オンライン授業、それぞれの連絡や課題を提出したりするのに使っています。

社会人として大学院で学ぶことについて、どうですか。

入学前までの生活は、職場が休みのときには寝ていたりしていました。入学してからは、授業で課題があり、大変さはありましたが、1か月経ったくらいで生活リズムが慣れてきて、仕事と大学院生の両立ができています。

《 大学院オープンキャンパスのお知らせ 》

■ 日時：2021年8月7日（土） 10：00～15：00

■ 実施プログラム

- ・ 研究科概要説明
- ・ 入試案内（出願資格等）
- ・ 教育・研究環境（遠隔授業等）
- ・ 教員との個別相談など

■ 申込方法 締切：8月6日（金）17時まで

メールアドレスに①お名前 ②ご所属 ③ご希望の課程（博士前期課程・後期課程）
④オンライン希望の有無をご記入の上、お申込みください。

E-mail：nyushi@koutoku.ac.jp



《 大学院入学試験のお知らせ 》

入学センター

博士前期課程では、人間に対する深い洞察力と高い倫理観をもち看護の理論と科学的な根拠に基づき、人々の生活や看護の場において教育力、指導力、研究能力を発揮できるすぐれた看護実践専門職業人を育成しております。また、博士後期課程では、人間に関する高い学識をもち人々の健康と生活の質の向上を目指した支援を体系的・科学的に探究し、独創性のある研究を自立して行うことができる教育・研究者の育成を目指しています。

下記の日程で博士前期課程・博士後期課程の入学試験を実施しますので、姫路大学大学院入学センター（TEL:079-247-7306 E-Mail:nyushi@koutoku.ac.jp）までお問合せください。随時個別相談を受け付けております。

働きながら学びやすいようにほとんどの講義はインターネットを利用して自宅や職場で受講することができます。また、長期履修制度もあり多くの大学院生が利用しています。

* 出願資格認定審査

I 期 8 月 2 日（月）～8 月 17 日（火）

II 期 11 月 22 日（月）～12 月 7 日（火）

* 出願期間

I 期 8 月 18 日（水）～9 月 8 日（水）

II 期 12 月 8 日（水）～1 月 26 日（水）

* 試験日

I 期 9 月 11 日（土）

II 期 1 月 30 日（日）

* 会 場：姫路大学（兵庫県姫路市大塩町 2042 番 2）

* 試験科目

博士前期課程

社会人選抜入学試験 小論文、面接

一般選抜入学試験 英語、看護専門科目、面接

博士後期課程

一般選抜入学試験 小論文、英語、面接



編集後記

高等教育では、ポストコロナの学習形態は対面授業に戻るのではなく、遠隔授業も活用することを想定しています。本学大学院でもほとんどの講義は、インターネットを利用して自宅や職場で受講できるようにしております。また講義は、平日の夜間や土曜日などに開講しており、日程は教員と相談のうえ決めることができます。

さて、ワクチン接種数は加速しており、その結果、高年齢化の重症化率が低くなってきているようです。欧米でもワクチン接種後は、マスクを外して数万人が集まりスポーツの応援をしていました。その一方、東京オリンピックは無観客での開催となるようで、変異ウイルスにはまだまだ注意しなければいけない状況が続いています。この慌しいなか、看護学研究科 Newsletter No.5 を発刊いたしました。

教育・研究者や地域の人々に姫路大学大学院を身近に感じていただけるよう研究科の情報を引き続き発信していきたいと考えております。次号は2022年1月頃にお届けできる予定です。

姫路大学大学院看護学研究科 Newsletter

2021年7月23日発行

■編集・発行

姫路大学大学院看護学研究科

〒671-0101 兵庫県姫路市大塩町2042番2

TEL: 079-247-7301

E-mail: daigakuin@koutoku.ac.jp



 **姫路大学**
Himeji University